



名古屋  
市中村区

# 大門

おおもん

大正から昭和、平成、そして令和までの約 100 年間  
絶えず変化するまち、大門の歴史をいま残したい

中村区役所・新大門商店街振興組合

## 名古屋市中村区大門とは

中村区大門は、名古屋駅西口から徒歩 15 分程度のところに位置する地域でありながらも、どこか昭和レトロな雰囲気が感じられる地域です。

大正時代から昭和初期にかけて、一大歓楽街「中村遊郭」として栄えた歴史を有し、今もなお、歴史的な風情が残されています。さらに、大門を象徴する商店街のアーチや個性豊かな商店・飲食店が下町らしさや人情味を醸し出しています。一方で、歴史的な建築物は年々取り壊され、マンションや駐車場へと姿を変えています。

## 大門エリアに残る歴史的な資源

### ◆ 大正から残る町割りと町名

大門は、元々田畑だった場所に、大正時代、中村遊郭建設時に計画的につくられたまちであり、南北に 3 本、東西に 5 本のほぼ垂直に交わる通りをもっています。また、遊郭の外周を堀（ドブ川）が囲んでおり、さらに、四隅の道を放射状（斜め）にすることにより、周囲から遊郭の中が見えないようにしていました。これら遊郭建設時に作られた道や堀の跡、町の形が、現在も残っています。

また、中村遊郭時代の町名「日吉」、「寿」、「大門」、「羽衣」、「賑」も現在に受け継がれています。

### ◆ 人情味のある商店街や個性的なお店

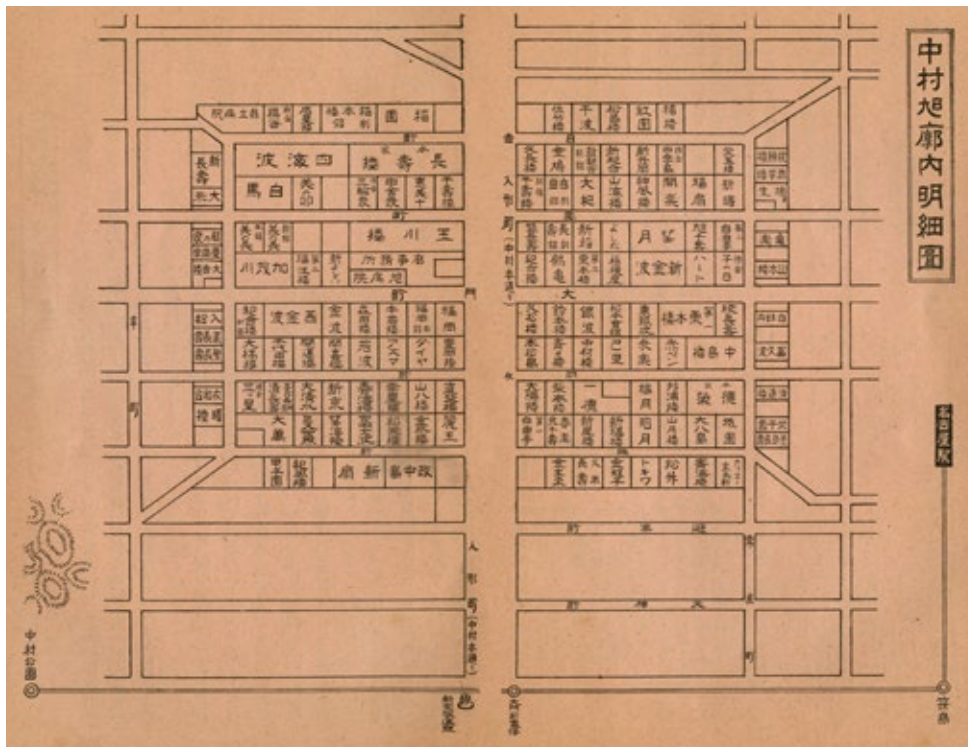
商店街としては、中村遊郭最盛期の昭和 20 年代が最も繁盛し、以降、商売は下降の一途をたどっていました。しかし、商店街発展会を立ち上げ、大規模な夏祭りを開催するなどして、活気を維持してきました。

現在も、個性豊かな専門店・飲食店などが残されており、商店街として栄えていた面影と、人情味が感じられます。

## 中村区大門の位置



## 中村遊郭の地図



『歓楽の名古屋』より転載 [横地清氏 提供]

## 空中写真でみる大門の変遷

< 戦後の大門 >

1945 (昭和 20) 年 ~ 1950 (昭和 25) 年



約70年後

< 現在の大門 >

2020 (令和 2) 年



出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>)

# 遊郭の誕生 大正9年ごろ～

1920(大正9)年3月に大須にあった遊郭(旭郭)を大門へ移転するため、田畑だった場所の整地に着手した。整地作業には多くの土を必要とし、それは土を取った跡に「遊里ヶ池」という池が誕生するほどであった。参考:『中村区史』

## 遊郭建築物を建設している様子



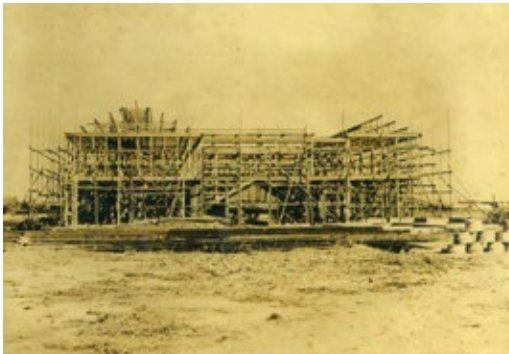
## 開発前の大門周辺の様子

1913(大正2)年ごろ

[横地清氏 提供]

ゆりがいけ  
遊里ヶ池は、かなりの広さを持った池で、夏には花火大会が行われるほどであった。  
参考:『中村区史』

## 整地のために土をとったあとにできた遊里ヶ池



1920(大正9)年ごろ・中村区日吉町  
[新大門商店街振興組合 提供]

1923(大正12)年4月、大門に、華々しく「中村遊郭」が誕生した。  
参考:『中村区史』



中村区道下町(現 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院)  
[横地清氏 提供]

## 遊郭建築物の玄関と中庭



1923(大正12)年～昭和初期ごろ・中村区日吉町  
[鬼頭完次氏 提供]

## 地域住民からのエピソード

遊郭としてオープンした頃の玄関は、入ると豪華なシャンデリアがあったことを覚えているな。

# 遊郭の最盛期 昭和初期～



**中村遊郭時代の大門通りのまちなみ**  
昭和初期・中村区大門通り(新大門商店街)  
[『百年前の中京名古屋 - 愛知県遊廓地域資料集 -』より転載]

遊郭時代の建築物は、建物の高さが高いがすべて  
総二階建ての建物であり、高さがそろっていた。  
一軒一軒入念に造られた、質の高い建物が  
並ぶまちであった。  
参考:『名古屋の町並と建築』

## 地域住民からのエピソード

遊郭の間に1m程度の細い道があって、  
わたしが子どもの頃はかくれんぼをして  
遊んでいたな。

おいらん  
花魁道中は、1928(昭和3)年と  
1933(昭和8)年の2回開催された。  
参考:『中村区史』

中村遊郭の最盛期は、新しい名古屋駅の竣工と、  
1937(昭和12)年に開催された名古屋汎太平洋  
平和大博覧会前後で、娼家(貸座敷)138件、  
娼妓2,000人に達した。  
設備や内容は東京の吉原を超えるとさえ言われる  
ほど、日本屈指の遊郭であった。  
参考:『百年前の中京名古屋』

## 花魁道中の様子



## 花魁



昭和初期  
[新大門商店街振興組合 提供]



昭和初期・中村区大門通り(新大門商店街)  
[『廓の葉那 阿多くらべ』より転載]

# 終戦後の中村遊郭

昭和20年ごろ～

7月20、21日の遊郭内の氏神祭礼は「提灯まつり」と呼ばれていた。

参考：『中村区史』

## 地域住民からのエピソード

遊郭時代、大門の各家庭では、5mくらいの笹を買ってきて、それに提灯をぶら下げて道を飾っていたよ。当時、わたしは子どもで、その様子は、お祭り気分でも楽しかったな。



提灯祭りの様子

1949(昭和24)年

ウィリアム・S・ペリー氏撮影(アメリカ合衆国ジョージア州在住)  
【岡崎茂氏提供】



名楽園再開時の様子

1945(昭和20)年以降・中村区寿町

【『占領期の名古屋 名古屋復興写真集』(風媒社2020年)より転載  
(株式会社青柳絵本家所蔵「後藤敬一郎関係写真資料」)】



名楽園の様子

戦時の空襲により55軒の遊郭が焼失したが、中村遊郭は「名楽園」として営業を再開した。終戦直後は、進駐軍人の登楼がみられた。

参考：『中村区史』

## 中村遊郭のモダンな建物と進駐軍兵士



1945(昭和20)年以降・中村区寿町

【『占領期の名古屋 名古屋復興写真集』(風媒社2020年)より転載  
(株式会社青柳絵本家所蔵「後藤敬一郎関係写真資料」)】

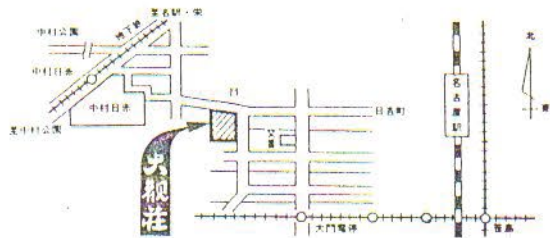
# 遊郭終焉後の大門

昭和30年ごろ～

## 地域住民からのエピソード

大観荘は高価なイメージはなく、学生の合宿で使われるような大部屋が多くある旅館だったよ。

昔泊まったことがあって、脚が家具調のレトロな卓球台があった。女将さんに聞くと、「昔は兵隊さんがこれで遊んでいたよ。」と話していたな。



[大観荘館内図パンフレット]



旧遊郭建築物の料理旅館 大観荘

1955(昭和30)年ごろ・中村区日吉町 [新大門商店街振興組合 提供]



夏祭りは、商店街振興組合の前身である新大門発展会により、昭和の頃から開催されており、仮装行列を行うなどして、大勢の人々でにぎわった。



1955(昭和30)年ごろ  
[新大門商店街振興組合 提供]



名古屋市役所へ  
仮装行列にて訪問している様子

1955(昭和30)年ごろ  
[新大門商店街振興組合 提供]

# 昭和中期の大門のまちなみ 昭和30年～40年ごろ



遊郭時代、大門通りの南北に存在した木製の門  
中村区大門通り(新大門商店街)  
[『百年前の中京名古屋 - 愛知県遊廓地域資料集 -』より転載]



ネオンが輝く大門アーチのオブジェは、  
ひょうたんの形をイメージして作成された

## 地域住民からのエピソード

大門アーチは、中村区に台風が上陸した  
際に倒れてしまったね…。  
でも、奇跡的に事故は起こらず、けが人は  
いなかったよ。



大門の発展のため新大門発展会によって  
大門通りの南北に建てられた大門アーチ  
1955(昭和30)年ごろ・中村区大門交差点付近  
[喫茶ツツキ 提供]

## 地域住民からのエピソード

土日の夕方頃になると市電に乗って多くの人が大門に来て、  
そして、夜中に市電に乗って帰っていた風景を覚えている。  
当時市電は、2両編成で、皆が乗り切れないので、  
交通局の人たちがお客さんを電車の中へ押し込んでいたね。



太閤通りを走っていた市電



大門通電停  
中村区大門交差点付近





地域住民からのエピソード

土日になると喫茶は満員で、にぎわっていたね。現代は、お店の外に並ぶけれども、昔はお店の中で客が待ち、席が空けば、机が片付かないうちに客が席に座っていたから、片付けが大変だったよ。



12月25日のクリスマスに  
ケーキの叩き売りが行われた喫茶ツツキ



喫茶ツツキの店内の様子

昭和初期・中村区太閤通6丁目 [喫茶ツツキ 提供]

地域住民からのエピソード

専門店が多く残る理由は、昔の商店街は専門店が立ち並び、いくつかのお店をお客さんが次々と巡り買い物をしていたからだと思う。その名残で大門には何かに特化した専門店が多い。死に体の商店街だけれども、今も図太く生き残っているところは魅力のひとつだね。



昭和40年ごろ羽衣町に存在した薬局

1965(昭和40)年ごろ・中村区羽衣町  
[新大門商店街振興組合 提供]



賑町に存在した  
お肉屋さん 鳥勝

昭和後期ごろ・中村区賑町  
[中村区住民 提供]

# 昭和後期の祭り 昭和50年ごろ～ [中村観音 白王寺]



昭和の喜劇役者 藤山寛美氏が発案した芸人塚



「芸」の文字は御園座の  
元社長 長谷川栄一氏の筆である

芸人塚は、藤山寛美氏発案のもので、名古屋に在住した  
芸人の方々の足跡を称えるため、1975（昭和50）年につくられた。  
参考：中村観音白王寺提供資料



あらゆる分野の「芸」人からお祝いの花が送られた



芸人塚除幕式の日には、笹と提灯で道が飾られ、  
大勢の人々が集まった



1975（昭和50）年4月10日・中村区名楽町 中村観音  
[新大門商店街振興組合 提供]

# 昭和後期の祭り 昭和50年ごろ～



当時の祭りは、大門通りを歩行者天国にして、盛大に行われた



路上には屋台が並んでいた

大門アーチには横断幕がかけられ、祭りは盛大に開催されていた



祭りで将棋を楽しむ子どもたち

子どもからご老人まで大勢の人が祭りを楽しんだ



1975(昭和50)年11月3、4日・中村区大門通り(新大門商店街)  
[新大門商店街振興組合 提供]

# 昭和後期の夏祭り 昭和52年ごろ～

## 地域住民からのエピソード

昭和49年から、商店街の通りを歩行者天国にして祭りを行うようになったと思う。当時の祭りは盛大に開催されて、「こんな嬉しいことはない」と皆が喜んでいたな。



大門通りを歩行者天国にして開催された、新大門発展会納涼夏祭り



## 地域住民からのエピソード

子どもたちがいろいろなお店を巡り、10円の抽選券を集めるイベントがあったよ。お店ごとに抽選券を配る時間が違って、配る時間になるとお店の前に並ぶ仕組みで、長い列ができていたのを覚えているな。



お店の前に集まる子どもたち

## 地域住民からのエピソード

お祭りの際は、チンドン屋さんもやっていた。雇っていたのは、お店の宣伝のためだったね。



お祭りの際に大門内を練り歩いたチンドン屋さん



餅つきは祭りの風物詩

1977(昭和52)年7月20、21日 [新大門商店街振興組合 提供]



地域住民からのエピソード

昭和40年代～50年代初頭の頃の  
大門まつりは子どもにとって天国だった。



輪投げや金魚すくいに熱中する子どもたち



きらびやかな屋台も並んでいた

地域住民からのエピソード

お祭りでは、名古屋太閤連の阿波踊りが行われていた。  
その他にも、花魁道中・キャラクターショー・サンバが行  
われていて、それらが祭りの三大イベントだったよ。



夜になると、大門通りは大勢の人々で埋め尽くされた



1977(昭和52)年7月20、21日・中村区羽衣町  
[新大門商店街振興組合 提供]

# 大門の建築物

〔旧料亭稲本〕



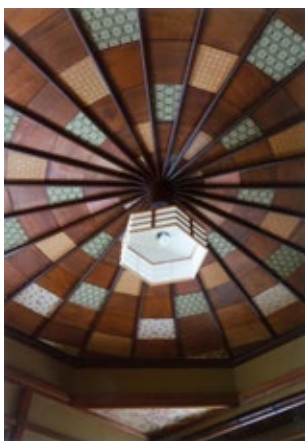
1959(昭和34)年から営業を開始した料理旅館

門をくぐると庭がある。  
建物全体が庭を囲うかたちだが、向こう側の部屋が見えないよう、高い木が植えられ、石灯笼が置かれていた。  
参考:『遊蕩の空間』

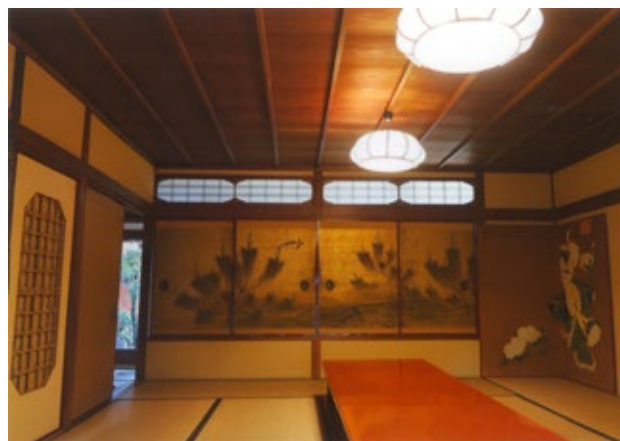
旧料亭稲本は、中国風の、異国情緒が漂うようなデザインの建築物であった。  
立派な鷗尾(しび)が付き、反りの強い瓦屋根の入口の門が特徴的であった。 参考:『遊蕩の空間』



稲本の中庭



建物2階「伊吹」の間の傘天井



## 地域住民からのエピソード

息子の結納を行ったことを覚えている。  
室内が素晴らしい装飾で皆に喜ばれた。

小さな部屋を多く有していた  
他の遊郭とは違い、  
宴会もできるような部屋もあった。  
参考:『遊蕩の空間』



ひょうたんを模した装飾

門は現在、  
愛・地球博記念公園(長久手市)へ  
移築されている。



## デイサービス ペんがら亭

料理旅館を閉めた後、デイサービス施設として活用されたが、  
2018(平成30)年に建物は取り壊された

# 大門の建築物 [松岡健遊館]

遊郭終焉後は料理旅館として営業し、  
現在はデイサービスセンターとして活用されている旧遊郭建築物



中村遊郭は、  
北へ行くほど位が高いと言われていた。  
中村遊郭は計画的に造られたため、  
遊郭一軒120坪の区割りであったが、  
松岡は四軒分にあたる  
480坪を有しており、有力な遊郭であった。



結婚式が行われることもあった宴会場の舞台



建設当時は珍しい、真っ直ぐに  
伸びた桜の木を使っている。



宴会場の天井の板は、樺の一枚板になっている。  
このような一枚板を使用した建物は建設当時は珍しかった。



それぞれの部屋にテーマがあり、  
入口や内装等ひとつひとつ  
デザインが異なっていた。

# 大門のまちなみ 平成4年ごろ～



## 地域住民からのエピソード

昔、大門には映画館が3つもあった。  
洋画を上映する「オーモン劇場」と、邦画を上映する「SK劇場」と「中村映劇」であった。  
SK劇場では、こどもの日は子ども向けの映画が公開されたので、子どもを連れて行っていたね。

## 大門にかつて存在した映画館

1992(平成4)年9月21日・中村区賑町  
[中村区住民 提供]



## 旧遊郭建築物である長寿庵

中村区寿町 [新大門商店街振興組合 提供]



## 大門小路



## 中村映劇のネオン

中村区名楽町 [大門まちづくり友の会 提供]



## 旧遊郭建築物を活用した旅館

1992(平成4)年9月21日・中村区賑町  
[中村区住民 提供]



## 中京温泉を活用した 屋内プール

中村区日吉町

## 地域住民からのエピソード

子どもをスイミングスクールに通わせていたことを覚えている。子どもを習い事に通わせるようになった時期だったので、人が多く、大変にぎわっていた。



## 提灯を模した看板が 掛けられていた大門横丁



## みこしモニュメント

大門は平成3年度に名古屋市から商業地整備モデル地区に指定され、「LOVE遊大門夏祭り」などのソフト事業や、アーチ・モニュメントの設置などのハード事業が進められた。



## 寿町に存在した銭湯「寿湯」



# 平成前半の祭り 平成5年ごろ～

## 大門でなかむら商業フェスタが開催された



1993(平成5)年3月10日 [新大門商店街振興組合 提供]

### 地域住民からのエピソード

大門は遊郭の歴史があるだけのまちではない。  
遊郭で一度栄え、  
遊郭が終わった後も新大門商店街として  
栄えている。

## ステージでは、様々なパフォーマンスが行われた



街路灯をフラッグや  
ハンギングフラワーで飾った

この頃の大門は商店街活用が非常に活発であった。  
1999(平成11)年頃には、「エコ商店街」として、  
リサイクルステーションの運営や、各商店における環境に配慮したサービス  
の実施、エコな買い物で1枚10円として使えるエココインの配布など、  
新大門商店街振興組合が中心となって様々な活動を行っていた。



## なごや商業フェスタ開催時の賑町の様子



1994(平成6)年4月8日 [新大門商店街振興組合 提供]

# 平成後半の夏祭り [OMON夏祭り] 平成16年ごろ～

大門では、1975(昭和50)年ごろから  
新大門商店街振興組合が主催となって、夏祭りが開催されていた。  
夏祭りは毎年、7月20日、21日に開催され、大門の夏の風物詩であった。



ステージで演奏を披露する子どもたち

2005(平成17)年・中村区日吉町 [新大門商店街振興組合 提供]



素盞男神社前から屋台が並んでいた



素盞男神社では、茅の輪ぐりが行われた



大門通りは歩行者天国とし、多くの人でにぎわっていた

2009(平成21)年

## 第39回大門夏祭り 復活した花魁道中

OMON夏祭り開催当初に  
恒例行事であった花魁道中は、  
2012(平成24)年に復活し、  
大勢の人々が集まった。

2012(平成24)年  
大門通り(新大門商店街)  
[加納栄志氏 提供]



太夫の後ろ姿



元気な掛け声とともに、子どもみこしが大門を練り歩いていた  
2004(平成16)年



新大門商店街振興組合の会員で制作したみこし  
2009(平成21)年



子どもみこしのゴールは旧料亭稲本前  
2005(平成17)年

夏祭りでは、  
商店街スタンプラリーや、子どもみこし、  
ステージでのジャズライブや  
幼稚園生の発表会等、  
様々な行事が目白押しであり、  
見ているだけでも充実した  
2日間であった。



大門通りではよさこいが披露された  
2005(平成17)年・大門通り(新大門商店街)  
[新大門商店街振興組合 提供]

# 平成から令和にかけての大門

大門の夏祭りは“OMON夏祭り”から形を変え、まちづくり友の会が主催となって、“大門フェス”が開催されている。



ピアゴ中村店の駐車場で開催された大門フェス2018  
2018(平成30)年

年始に開催しているもちつきは、子どもから大人まで、地域住民の笑顔が溢れる恒例イベントとなっている。



夜の大門  
魅惑のナイトツアーで訪れた  
大門にかつて存在した  
赤ちょうちん 善ちゃん  
2018(平成30)年11月17日  
中村区賑町  
[大門まちづくり友の会 提供]



遊郭建築物や古い町並みに魅力を感じた大門ファンが訪れるようになっており、まち歩きツアーなどのイベントも定期的で開催されている。



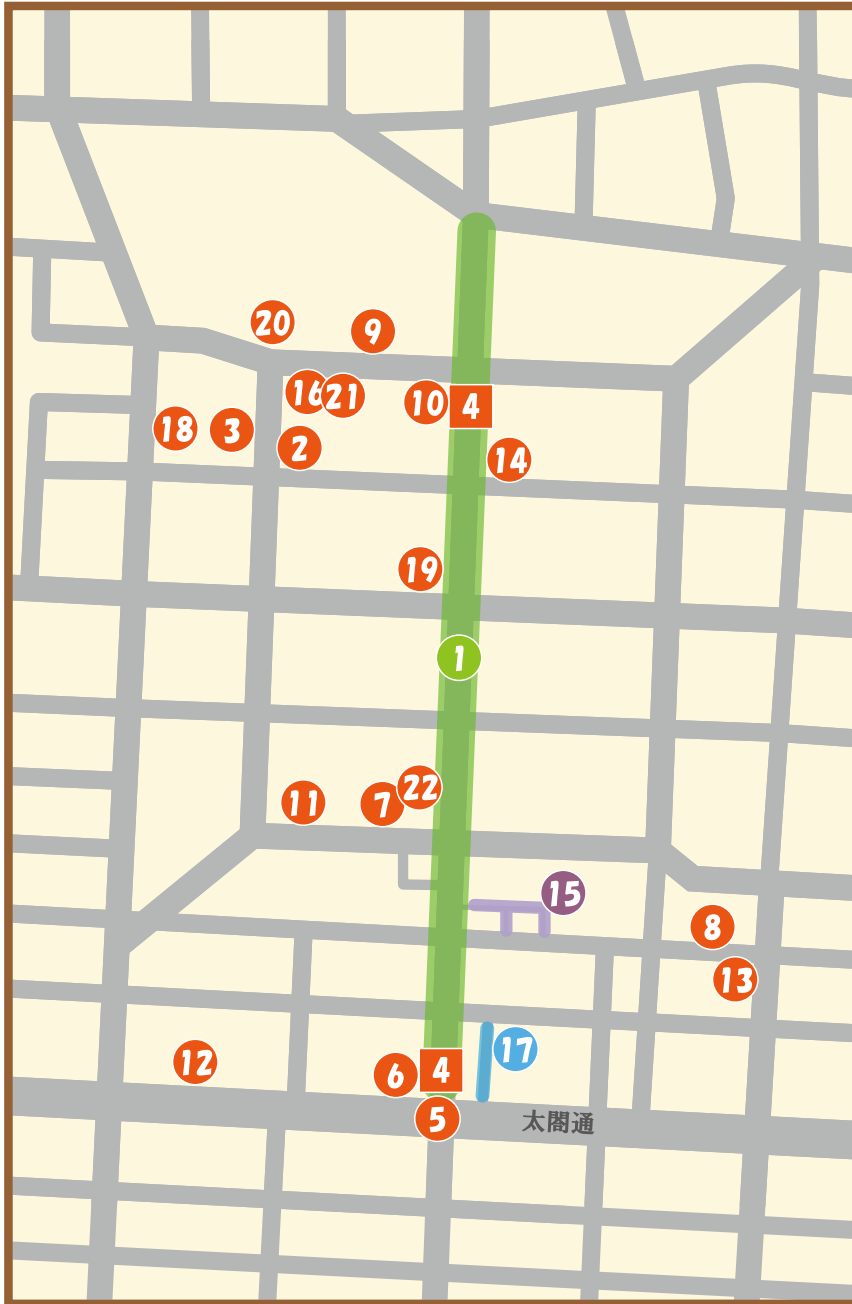
OMONデイツアーの様子(大門横丁)  
2019(平成31)年11月30日・中村区名楽町  
[大門まちづくり友の会 提供]

もちつきの様子(大門横丁)  
2022(令和4)年1月16日・中村区名楽町  
[大門まちづくり友の会 提供]

写真集の作成にあたり、大門エリアの昔の写真収集や、大門の地域資源や魅力を伺うインタビュー、ワークショップにて昔の大門エリアでのエピソード収集などを行いました。  
作成にご協力いただいた地域住民の方々をはじめ、多くの方々に、心より感謝申し上げます。

# 写真撮影場所マップ

本写真集に掲載された写真に映る建物や店舗等の場所をマップに示しています。



- 1 大門通り（新大門商店街）  
…P4、P7、P10、P11、P12、P17
- 2 中村遊郭のモダンな建物…P5
- 3 大観荘 …P6
- 4 大門アーチ（北・南）…P7
- 5 大門通電停 …P7
- 6 喫茶ツツキ…P8
- 7 鳥勝…P8
- 8 中村観音 白王寺…P9
- 9 旧料亭稲本…P13
- 10 松岡健遊館…P14
- 11 オーモン劇場…P15
- 12 SK 劇場…P15
- 13 中村映劇…P15
- 14 長寿庵…P15
- 15 大門小路…P15
- 16 屋内プール施設…P15
- 17 大門横丁…P15、P19
- 18 寿湯…P15
- 19 ピアゴ中村店（旧ユニー）…P16、P19
- 20 素盞男神社…P17
- 21 OMON 夏祭り会場（駐車場）…P17、P18
- 22 善ちゃん…P19

## 歴史を紡ぐことは、今、大門に住む僕たちの役割

加納栄志 氏 [ きもの美濃幸 店主／新大門商店街振興組合 理事長 ]



大門は、5,6 前と比較しただけでも景色を大きく変えましたが、50 年前からずっと残るお店もあり、ずっと大門から離れない人もいて、昔から“人情があるまち”だと思います。これから大門のまちが、どのように変化するのは全く想像が付きませんが、昔から変わらない“人情”は、あと 100 年先も残っていてほしいです。

集めた古い写真は、単なる、昔を思い出す道具でもいいかもしれませんが、それらは“大門のまちや歴史を紡ぐ道具”にもなります。今の住民・未来の住民が、過去の住民から紡がれた歴史を知ることによって、「僕たちの住む大門っていいまちだね。」というシビックプライドに結びつき、まちを盛り上げたいと思うひが増えるといいなと思います。



※禁無断転載、本書の掲載記事及び写真の無断転載、複写を固く禁じます。

《お問い合わせ》

中村区役所 地域力推進室

TEL:052-453-5325 FAX:052-453-5323

令和4年3月